

「働く大人の背中を見て」

城南中3年生が職場体験

新宮市立城南中学校の3年生61人は12日、14日、新宮市内23か所の事

業所で職場体験を行っている。生徒らは与えられた仕事に一生懸命取り組み、働くことの意味やコミュニケーションの大切

さなどを学んだ。



袋詰め作業に励む2人

新宮市蓬菜の菓匠

柏堂切畑屋では、アターシャ・カエルさんと上地智子さんが職場体験を行い、和菓子の製造工程を学んだ。2人は和菓子づくりに興味があ

さが求められる作業を真剣な表情でテキパキとこなした。

アターシャさんは「和菓子づくりは楽しい」、上地さんは「和菓子が好きで一度は経験してみたい」と話した。仕事に励む2人の姿を見て、同店店主の切畑伊和男さんは「仕事は楽しいのが一番いい、時々笑顔を

間中は和菓子の製造を担当する。

同校の成見雅貴教諭は「真面目にテキパキと仕事をこなしている生徒の姿を見て安心した。普段の授業では味わうことのできない経験をし、コミュニケーションの大切さや仕事の楽しさを知ってもらうことが目的。今後の進路選択などの際にも今回の体験が役立つはず」とコメントし、「協力してくださる皆さんのおかげで職場体験が成り立っているのだからありがたい」と感謝の気持ちを述べた。(吉永豊大)

コミュニケーションの大切さも